

nikkor club

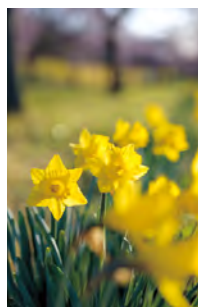
70th
Anniversary

272
2023 SPRING

特集
撮影ポジションやカメラの設定で
変わる春の撮影術



CONTENTS



表紙写真 岡本洋子

春の暖かな日差しを受けて、桜堤に咲くスイセンの花が大地を彩っていました。花と同じ目線で撮りたかったので、ローアングルで構えて、前ボケと後ろボケで主役を挟んで奥行きも意識して撮りました。Z fc・NIKKOR Z DX 16-50mm f/3.5-6.3 VR・f3.2・1/4000 秒・ISO400

02 ニッコールクラブは大きく生まれ変わります —2023年度の活動について—

特集 撮影ポジションやカメラの設定で変わる

04 春の撮影術

写真・解説：岡本洋子／秋山華子／森 誠／芳賀健二

コンテスト

- 26 サロン・ド・ニッコール カラーの部
選評：大西みつぐ／ハナブサ・リュウ
- 38 サロン・ド・ニッコール モノクロームの部
選評：小林紀晴
- 46 ネイチャー・フォトサロン
選評：佐藤倫子
- 54 チャレンジ・フォトサロン
選評：三好和義
- 59 総評
- 60 会報フォトコンテスト年度賞得点表
- 62 予選通過者一覧
- 63 ワンポイントアドバイス

作品

- 表4 大西みつぐ×NIKKOR Z 40mm f/2(SE)

製品情報

- 18 PRODUCT REVIEW VOL.22
Z 9 ファームウェア Ver.3.00 上田晃司
- 24 ニッコールクラブ会員様向け 特別販売
ニコンダイレクト限定カラー
Z fc (クリムゾンレッド)

連載

- 表2 地球のどこかで思いを馳せる
生き物はみな、賢く愛に溢れている 高砂淳二
- 14 受賞者の“いま”
第30回 林忠彦賞
初沢亜利 文・写真：池谷修一

- 16 私のライフワーク 第8回
写真グループ「rinphoto®」 佐藤倫子
- 20 エプソン 楽しくきれいにプリント 講座 vol.15
理想の作品を仕上げる
「なつかしさ」の表現術 大西みつぐ
- 22 アベっちのZの秘密 その15
ファン待望の新色がついに登場！
Z fc ブラック 阿部秀之
- 25 Let's Go Nikon College！ 第15回
モノクロスナップを対象とした
オンライン講座の紹介 秋山華子

インフォメーション

- 64 会員写真展 PickUP！
「道標」三澤 久／「ミステリーボックス」法橋慶子
「阿蘇の時間～星景とマジックアワーを中心に～」前田浩明
「すなば物語」杉江輝美
- 66 写真展スケジュール
- 67 支部だより
- 68 NCニュース
- 70 ニコンサロン年度賞（伊奈信男賞・三木淳賞）決定
- 72 イベント情報
- 表3 楽しく学べる！ 写真教室 Nikon College
- 巻末 ニコンダイレクトFAXご注文票
ニッコールクラブ登録情報変更依頼書
会報273号フォトコンテスト応募規定

ニッコールクラブは 大きく生まれ変わります

—2023年度の活動について—

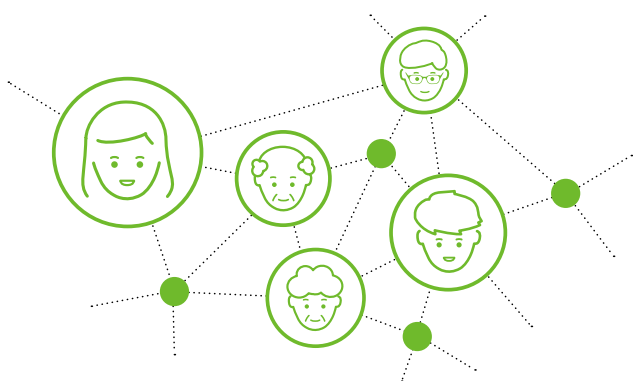
昨年創立70周年を迎えたニッコールクラブは、2023年度より新たなコミュニケーションを展開します。

- 幅広い年齢層のニコンユーザーの皆様楽しんでいただけるような提案を行ってまいります。
- 新たなオンライン・コミュニティを作り会員相互のコミュニケーションを強化します。
- 従来の活動と新たな活動の共存を図り、新たなアドバイザーをお迎えします。

どうぞこれからのニッコールクラブにご期待ください。

ニッコールクラブの新たな3大提案

1 『新たなオンライン・コミュニティ』



どこからでもいつでも参加できる

全国どこからでも、いつでも気軽に参加でき、作品投稿やコメントで双方向のコミュニケーションをとることができる場をオンラインで開設します。パソコン、スマートフォン、タブレットなどからアクセスが可能です

仲間と高めあう場

風景やポートレートなど、同じ被写体やテーマ、目的を持つ仲間を見つけ、語り・学びあえる、サークルのような場をオンラインで提供していきます。それぞれの被写体やテーマで活躍されている写真家が担当アドバイザーとして就任予定です。同じテーマを追い求める仲間だからこそ共感や共有しあえる場としては是非ご活用ください。

※参加にはWeb 利用登録が必要となります。事前に登録をご確認ください。

2 『イベント』

撮影会、フォトセミナーやフォトキッチンなどのイベントをオンライン、リアルで提案していきます。また、ニコンカメラやニッコールレンズをより深く理解をしていただくことができるイベントや、ニコンファンの皆様が気軽に参加できるイベントを予定しております。



3 『新たなアドバイザーの参加』

大西みつぐ先生、小林紀晴先生、佐藤倫子先生、ハナブサ・リュウ先生、三好和義先生の5名の現アドバイザーに加え、新たなアドバイザーに就任いただく予定です。オンラインとリアルで多彩なサービスを提供していくために、経験豊富なアドバイザーにサポートしていただきます。

ニッコールクラブ 2023年度 イベントスケジュール

日程	内容	場所	場所	予定会報
2023年 3月19日(日)	ニッコールフォトセミナーin東京	有楽町朝日ホール	大西みつぐ、小林紀晴、佐藤倫子、ハナブサ・リュウ、三好和義 ゲスト：今森光彦、中井菜央	271号
5月20日(土)	ニッコールフォトセミナーin岡山	TKP岡山会議室	佐藤倫子、ハナブサ・リュウ	今号
5月21日(日)	ニッコール撮影会in岡山	岡山サウスヴィレッジ	佐藤倫子、ハナブサ・リュウ	今号
5月27日(土)	ニッコールフォトセミナーin福岡	TKP博多駅前シティセンター	小林紀晴、ハナブサ・リュウ	今号
5月28日(日)	ニッコール撮影会in福岡	舞鶴公園	小林紀晴、ハナブサ・リュウ	今号
7月 8日(土)	ニッコールフォトセミナーin仙台	TKPガーデンシティPREMIUM 仙台西口	大西みつぐ、三好和義	今号
7月 9日(日)	ニッコール撮影会in仙台	七北田公園	大西みつぐ、三好和義	今号

※イベントは諸般の事情により中止、又はスケジュールが変更となる場合があります。ご了承ください。
※各イベント詳細は77～79ページをご確認ください。

継続する活動

●支部活動サポート

支部批評／支部キャラバン等は、引き続き行ってまいります。

●会報誌の発行

6月／9月／12月／3月の年4回発行します。

●ニッコールフォトコンテスト

ゲスト審査員を迎え、皆さまの自慢の作品のご応募をお待ちしております。

●会報フォトコンテスト

年4回開催いたします。詳しい日程は右記年間スケジュールをご覧ください。

●永年継続表彰

継続年数5年から、5年ごとに記念品「ニッコールクラブオリジナルアクセサリーシューカバー」をお贈りいたします。

ニッコールクラブ 2023年度 フォトコンテスト予定表

	応募号		会報発送予定日	応募期間	入賞作品掲載号
2022年度	3月号	272号	2023年 3月1日	3/1(水) ～ 3/31(金)	6月号
2023年度	6月号	273号	2023年 6月1日	6/1(木) ～ 6/30(金)	9月号
	9月号	274号	2023年 9月1日	9/1(金) ～ 9/29(金)	12月号
	12月号	275号	2023年12月1日	12/1(金) ～ 12/22(金)	3月号
	3月号	276号	2024年 3月1日	3/1(金) ～ 3/29(金)	6月号
第71回 ニッコール フォトコンテスト		272号 273号	2023年 3月1日 2023年 6月1日	2023/ 3/10(金) ～ 7/5(水)	作品集 (12月発送)

メールアドレス登録のお願い

2023年度のニッコールクラブの活動に関しましては、会報誌6月号・9月号にて詳しくお伝えする予定です。これからはオンラインコンテンツの充実を図ってまいりますため、この機会にぜひメールアドレスの登録をお願いいたします。メールアドレスの登録はこちらからお願いいたします。

https://www.nikon-image.com/activity/nikkor/for_customers.html





被写体を選んだ後、
『春らしさ、春っぽさ』を、
レンズ選びや光線状況、
カメラの設定などを使って
どのように味付けしていくと
よりその雰囲気を作り出せるのか。
普通に撮ったらこんな場所も、
春らしさを出すためにレンズ効果や
ポジションの工夫をすることで
雰囲気が変わります

撮影ポジションやカメラの設定で変わる

春の撮影術

写真・解説 岡本洋子／秋山華子／森誠／芳賀健二

花風景 + 春らしさ

岡本洋子

変わるポイント

春らしい光をとらえる撮影ポジション

- 順光より逆光がおすすめ
- 透過光によるドラマチックな描写
- 春の日差しを玉ボケにしてアクセントに

春らしく仕上げるカメラ設定

- ホワイトバランスは曇天モードで暖色系に
- ピクチャーコントロールはポートレートで柔らかく
- 露出補正はプラスに補正して明るく

春らしく仕上げるレンズ選び

- 広角レンズは生命力を表現できる
- 広角レンズの最短撮影距離が短い特徴を生かす
- 広い背景を活かし春のイメージを醸す

春をイメージする花の色は黄色やピンク色、優しい色合いが多いですね。またカタクリに代表される背丈が低い、スプリングエフェラル（春の妖精）とも言われる植物たちが、一齐に花を咲かせ春の地面を彩ります。そのような背丈の低い春の花を撮るには、カメラアングルも重要です。花と同じ高さから、地面から花を見上げるようなアングルで撮ると春先に咲く花の力強い生命力を感じる写真が撮れるのではないのでしょうか。また広角レンズを使えば、いつ

もと違った描写もできます。春の暖かい日差しを感じる写真を撮るには、やはり天気がいい日や明るい曇天の日がおすすめです。背景を空にする場合にはプラス補正で明るめに、色合い的には、ホワイトバランスを青味の強いものに調整するよりは曇天などにして赤味を追加するこゝとで温かみを演出するのもいいでしょう。コントロールのポートレートやフラットなどを使って春らしいふんわりとした花の表現を楽しみましょう。



柔らかく、明るく、暖かく仕上げる

白い雲が広がるような、快晴ではないときに、オートホワイトバランスや晴天モードを使うと全体に青っぽい色味になります。青味が強いと涼し気な写真に見えてしまうので、春の暖かいイメージを演出するなら、暖色系の曇天モードを使ってみましょう。ピクチャーコントロールもポートレートで柔らかく、露出補正もプラスにして明るめに。

Z 7・AF-P NIKKOR 70-300mm f/4.5-5.6E ED VR + マウントアダプター FTZ・f/10・1/500 秒(+0.3EV補正)・ISO800



逆光を使ってドラマチックな絵作り

春の暖かい光を使い表現するときに、順光でもいいのですが、影などがシャープに出て硬いイメージになってしまう場合があります。春は、逆光を利用すると温かみを感じられるのと同時に、透過光によるドラマチックな描写などを狙うことができます。手前や背景などの光による明るい部分は、玉ボケにして利用すると素敵なアクセントになります。

Z 7・AF-S Micro NIKKOR 60mm f2.8G ED + マウントアダプター FTZ・f/3.1/6400 秒(−0.3EV補正)・ISO800・ピクチャーコントロール ビビッド

春は広角レンズがおすすめ

春の花の生命力、圧倒的なボリューム感を表現するなら、広角レンズがおすすめです。最短撮影距離が短いという特徴を生かして、主役の花を決めてピントが合うギリギリまで近寄って不要なものが入り込まないように気を付けてフレーミングします。望遠レンズやマイクロレンズで撮る花とは一味違った描写が楽しめるでしょう。



Z 7・NIKKOR Z 24-70mm f4 S・f/4.1/6400 秒(+1EV補正)・ISO400



Z fc・NIKKOR Z DX 16-50mm f/3.5-6.3 VR・f3.2/1/4000 秒・ISO400



Z 7・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・f/5.1/200 秒(+1.7EV補正)・ISO800

キラキラの輝きを 逆光でとらえる

通りに吊るされた造花の桜。偽物ではあるものの春の風物詩とも言える被写体です。逆光でキラキラと瞬く姿に惹かれました。春の光に包まれたような印象に仕上げるために、アクティブ D-ライティングを「強め」に設定し、シャドー部が明るくなるように調整。春は足元や目線より上にもたくさんの被写体が潜んでいます。

Z 6 II・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・絞り優先オート(f/8・1/500 秒)・WBマニュアル・ISO100



街中の装飾が華やぎ、人々の服装も明るく変化する季節。「春」を写真に落とし込むためには、光の取り入れ方は重要な要素です。主役となる被写体に強く光が差し込み、くっきりとした影が落ちる状況は避けず、均一に光が当たっている日陰や曇りのシチュエーションや、逆光状態で露出設定を明るくして撮影をし、柔らかな春めいた印象の写真に仕上げましょう。

穏やかな春の印象に仕上げる場合には、ホワイトバランスの色温度設定から好みの色合いになるよう微調整することがおすすめです。さらに、好みの絵作りになるようピクチャークントロールを自分好みに調整しましょう。可能であれば撮影後、Studio Raw 現像を行う際に調整してもよいでしょう。

人それぞれ考え感じる春らしさは異なるはずです。春から連想される印象を書き留めてみて、被写体探しの参考としたり、その印象を写真に落とし込むために必要なシチュエーション・撮影方法・カメラの設定、使用するレンズを考えてみましょう。

街スナツプ + 春らしさ

秋山華子



いい光を見つけたら アングルを探してイメージを作る

朝早く、商店街に暖かい光が差し込んでいたシーン。留守番中の猫がこちらをうかがうように見つめていました。人も動物も陽気に誘われて動き出す春は、街中の猫を追い求めるにはとっておきの季節です。いい光を見つけたので猫の顔に光が当たらないようアングルを調整。日向のあたたかさや日陰の寒さが感じられるよう、ホワイトバランスも調整し、ブルー色を強めています。

Z 6 II・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・絞り優先オート(f/11・1/40 秒)・WBマニュアル・ISO320



春は華やかな 明るい印象でWB調整を

風に揺れる暖簾を見て春を感じました。人との出会いや別れなどが訪れる春。人物撮影が楽しくなる季節でもある。やさしく微笑む笑顔が印象的で、その可愛らしさを表現するためホワイトバランスを調整し、マゼンタ色を強めています。また、灰暗い印象を無くしたいので、ヴェネットコントロールを「強め」に設定しました。

Z 6 II・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・絞り優先オート(f/2.8・1/500 秒)・WBマニュアル・ISO100



春を意識して、シャッターチャンスは逃さない

花筏が撮影したく門前仲町へ。ふと周りを見渡すと、船に同乗した方と橋の上の人が手を振り合っている。なんて朗らかで素敵な瞬間！急いで数枚シャッターを切った。春の出会いと別れを彷彿とさせるからだろうか。人物にややピントが合っていない写真だが、そのあいまいな感じに惹かれる。とにかくシャッターを切ることが大切と再確認。

Z 6 II・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・絞り優先オート(f/2.8・1/1000 秒)・WBマニュアル・ISO250

変わるポイント

春らしい光をとらえる撮影ポジション

- くっきりとした影がでる状況は避ける
- 均一に光が当たる日陰や曇りの光線状況◎
- 逆光状態も良い

春らしく仕上げるカメラ設定

- 露出補正は明るめに調整
- ホワイトバランスの色温度設定を利用する

春らしく仕上げる+α

- 春から連想される印象を書き留め被写体探しの参考にする



春のテーマが決まったら、時期や良いタイミングを狙いにいく

目的なく歩き被写体を探すのも街撮影の醍醐味。しかし、春を写すためには撮影するタイミングや時期にこだわりたい。お彼岸になるとお花を抱えて歩いている人がいるだろう、午前中に撮影すればその出会いの確率は高まるはず。といった予測を立てることで、テーマに沿った被写体を見つけることができたり、それに関連する気づきを得ることで新たな被写体と出会えたりします。

Z 50・NIKKOR Z 50mm f/1.8 S・絞り優先オート(f/1.8・1/1000 秒)・WBマニュアル・ISO100



ふんわり柔らかい雰囲気はピクチャーコントロールで調整

飾り紙が可愛い線香の煙がふわりと燐っていて、柔らかい空気感が演出しました。ピクチャーコントロールをニュートラルに設定。さらに自分好みの雰囲気になるよう調整を行いました。輪郭強調とミドルレンジシャープを高め、明瞭度を下げる。さらに彩度を好みの鮮やかさになるよう調整しています。春は柔らかく溶け込むような絵作りも意識したいですね。

Z 6 II・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・絞り優先オート(f/4.5・1/500 秒)・WBマニュアル・ISO100

鉄道風景 ＋ 春らしさ

森誠



Z 6・NIKKOR Z 14-30mm f4 S・f/7.1・20 秒・WB: 電球・ISO640・クリエイティブピクチャーコントロール トイ

写真で春らしさの表現をするためには、光と色の世界を見つけることがポイントになります。まずは撮影者が「春だな〜!」と感ずることが重要。そこには春の香りや暖かなイメージ、やさしい光の世界が存在します。あとは、色表現に光の使い方を意識しましょう。サクラなど美しい花びらのある花を被写体を選ぶ場合は、透過光を使い光の抜けかたで透明感や空気感を大事にする。

「いいな〜!」と思う春を感じる鉄道の撮影場所を見つけたら、天気や光の角度などを調べて何度も足を運ぶこと、さらには来年の撮影のためにロケハンのつもりで気持ちを切り替えることも大切です。

私が一番大事にしていることは、目前にある「その場の空気の色」つまり春色に染まった光の世界であり透明感のある雰囲気のことだけを考えて撮影しています。逆光・半逆光を上手く使い、それを繰り返すことで自分だけの春を見つけることが出来るようになるはずです。曇りや雨の日にも逆光・半逆光は存在しますので、諦めずに探してみてください。

変わるポイント

春らしい光をとらえる撮影ポジション

- 光線の状態は逆光や半逆光が基本
- 光が柔らかい時間帯を選ぶ
- 光と影を意識してポジションを探す

春らしく仕上げるカメラ設定

- 春色の表現はホワイトバランスとピクチャーコントロールで変わる
- 露出補正で明るさの調整する

春らしく仕上げるレンズ選び

- 広角レンズ
- 明るい単焦点レンズ
- ボケ味でレンズを選ぶ



Z 9・NIKKOR Z 24-120mm f4 S・f/4・1/2000 秒・晴 天 日 陰
・ISO400・クリエイティブピクチャーコントロール トイ

どのような状況でも光を探ることが大事!

光線の状態は逆光や半逆光が基本になりますが、ただ光が強すぎるとコントラストが高く、硬い写真になってしまうので要注意! 太陽が高い時間帯はやわらかい光を見つけるのは難しいですが、朝日や夕日の時間帯は見つけやすく、光と影を意識しながら探してみましょう。その時の状況により見え方が変わるように、撮影ポジションによっても光の見え方は大きく変わるのでいろいろな角度から光を探してみる事が大切。



こだわりのレンズで やわらかい春を表現！

春を表現したい時に良く使うレンズは、広角レンズNIKKOR Z 14-24mm f/2.8 S、望遠レンズNIKKOR Z 70-200mm f/2.8 VR S、単焦点レンズNIKKOR Z 50mm f/1.2 S。その中でも最も使用頻度の高い「NIKKOR Z 70-200mm f/2.8 VR S」は画角的にも最適ですが、このレンズの特徴でもあるボケ味と抜けの良さが抜群で、私の表現に必要な光の世界を撮影することができます。

Z 9・NIKKOR Z 70-200mm f2.8 VR S・f/2.8・1/1600 秒・WB: 晴天・IOS160・クリエイティブピクチャーコントロール トイ



ホワイトバランスと ピクチャーコントロールで 春色に変える！

カメラの設定は、まず何を表現したいかを考えましょう。「花の色」となればホワイトバランス (WB) による全体的な色の変更、露出補正による明るさの調整、ハイキー・ローキー (+/- 補正) など、それほど難しく考えなくてもよいがクリエイティブピクチャーコントロールは、その場の雰囲気によって変更しています。写真は、WB自然光オート・明るめ・クリエイティブピクチャーコントロール CV12トイに調整。そうすることにより花の鮮やかさや全体的な雰囲気を出すことができました。

Z 9・NIKKOR Z 70-200mm f2.8 VR S・f/2.8・1/2500 秒・WB: 自然光オート・IOS250・クリエイティブピクチャーコントロール トイ

春らしい鉄道風景写真・鉄道スナップの注意点

ふだん鉄道写真をメインに撮影されている方は、露出や構図が列車メインになりがちです、春の表現を第一優先に考えながら列車位置を決めてフレーミングしましょう。白く抜けてしまう空や黒く潰れてしまう影は出来るかぎり少なめに構図を仕上げましょう。RAW現像をされる方も撮影をする段階で色補正をおこない撮影しJPEGに残す。その時のイメージを基準に現像処理をおこなう。サクラなどの色を出すために「色を濃くしすぎ」「コントラスト強めすぎ」「シャープのかけすぎ」は雰囲気や空気感が失われてしまうので注意。



ビントの位置は列車だが、菜の花畑を重点的に考えたフレーミングにしたので、少しハイキーにし、立ったりしゃがんだりしながら、列車のサイズと位置を考えて撮影しました。



桜を画面いっぱいに流し、走行する列車の躍動感を出しながら春を演出。列車と桜のバランスを考えるため、レリーズモードはコマ数の多い高速連続撮影がおすすめ。



王道でも青空バックで満開の桜の花を

やはり晴天の青空をバックに、春の明るい暖かな光の中で狙いたい被写体です。太陽との角度により効果の具合は変わりますが、C-PLフィルターを使って、青空のコントラストを高め、綺麗で気持ちのいい青の印象を強めたいところです。白い雲や残雪の山など、その他の要素を取り入れて、ひと工夫するのもいいでしょう。色具合はピクチャーコントロールで何を選ぶか、また露出の加減も関係してきます。できれば幹の形や枝ぶり、バランスの良い木を選び、主役の桜は満開前後のいいタイミングを狙うのも重要です。

D850・AF-S NIKKOR 24-70 mm F2.8 G ED・f/8・1/500 秒・
WB: 晴天・ISO400

変わるポイント

桜を狙う撮影ポジション

- 逆光のポジションで光とともに狙う
- 春の雰囲気も入り込むポジション探しを

桜を狙うカメラ設定

- WBを調整し赤味や青味で雰囲気作り
- ピクチャーコントロールや露出を調整

桜を狙うフレーミング

- 和を感じるモチーフと組み合わせる
- 桜を愛でる人物を入れる
- 咲く花だけでなく散った花びらも注目

春の花というとき「梅の花」を思い浮かべる方もいらっしゃると思いますが、静かで地味な印象が梅の花にはあります。
それに比べて桜は、正面玄関から笛や太鼓を伴って、にぎにぎしく派手に、陽気にやって来るような感じがします。日本を代表する花ですし、皆さんにもっとも親しみのある、好

きな花のナンバーワンなのではないでしょうか。
縦に長い日本列島とはいえ、「桜前線」などが話題になるのも、日本ならではの光景でしょう。ただでさえ「春らしい」被写体の代表格、そんな桜のいろいろな撮り方、表現の仕方をお話していきたいと思っています。

春らしい被写体「桜」
あなたらしく撮る
芳賀健二



さまざまな視点でフレーミングを探そう

ただきれいな桜の花だけ撮っても、単調な表現になってしまいます。イメージに合ったモチーフや人、視点などを変えてさまざまなフレーミングに調整してみましょう

Z fc・NIKKOR Z DX 50-250mm f/4.5-6.3 VR・f/6.3・1/1250 秒・WB: 晴天・ISO400



D850・AF-S NIKKOR 70-200mm F2.8G ED VR II・f/8・1/200 秒・WB:4600K・ISO400



D850・AF-S NIKKOR 70-200mm F2.8G ED VR II・f/8・1/200 秒・WB: 晴天日陰・ISO400



雰囲気を作り出す ホワイトバランス

私はJPEG撮影が多いので、割と変更する機会の多いのがWB（ホワイトバランス）です。撮影の時間帯を変えることが出来るなどともいわれていますし、赤味、青味を変更して雰囲気や印象を変えたいときに使っています。作例のように青味を強くした桜は、静寂さや早春の冷たさ、そしてやや不気味さのようなのが感じられるような気がしますし、反対に赤味（晴天日陰で撮影）のある桜のほうは、春の光やほんのりした、やさしい暖かさが伝わってくる感じがします。

人物を脇役にして

午後の穏やかな光の中、ボート遊びをする人々の様子を脇役にしてみました。花筏なども、花と水のあるところはどこでも挑戦できる撮り方でしょう。スローシャッターで浮かんだ花弁を流すような撮り方もいいですね。

D850・AF-S NIKKOR 24-70mm F2.8G ED・f/7.1・1/5000 秒・WB: 晴天・ISO400

満開を過ぎても楽しめる桜

関東辺りでは、4月も中旬過ぎになると、桜が散り始めます。それでも作品づくりは可能で、花吹雪の様子などもいいですし、落ちた花弁の様子なども十分絵になる被写体です。石の硬い黒い感じと、花弁の柔らかい質感、ピンク色の花弁との対比を狙いました。

Z fc・NIKKOR Z DX 16-50mm f/3.5-6.3 VR・f/8・1/400 秒・WB: 晴天・ISO400



大西みつぐ × NIKKOR Z 40mm f/2 (SE)



Z fc・NIKKOR Z 40mm f/2(SE)・f/2・1/1600秒・ISO800

創業100年の魚屋さん。
店頭に飾られた花、綺麗に並べられた魚、
中では黙々と魚をさばっている。

小さな子どもが

「おじちゃん」と

声をかけて通り過ぎる。

町の記憶はしっかり

残っていくだろう。

Z fcと

Z 40ミリf2の出番。

WBは「自然光オート」。

シャッターの音が

優しく響く。